



被災地まで届け！

「熱い心」響き渡る

～第22回日本海に響け！太鼓の祭典 ・第25回秋田県太鼓フェスティバル～

7月23日、潮風公園で「第22回日本海に響け！太鼓の祭典・第25回秋田県太鼓フェスティバル」が開催され、13団体約200名による演奏が披露されました。

「真夏の太陽より熱い心で東北を元気にしよう」と題された今祭典。出演者は、この日に向け重ねてきた練習の成果ばかりでなく、「東北の被災地へ元気を」という思いをバチに込め、力強く和太鼓を響かせました。演奏後に感極まる出演者に、つめかけた大勢の観衆も感動し、一体となった会場には「熱い心」が響き渡りました。



救命索発射器操法では正確性を競う

海の安全を守る救難所

～第45回海難救助訓練大会～

7月9日、救難技術の向上と水難事故防止の普及啓発を図るため、秋田県水難救済会主催の第45回海難救助訓練大会が金浦漁港を会場に行われました。

県内にある9つの救難所から約300人が参加。救難所対抗で4種目の救難技術が競われました。救命索発射器操法では100m前方の目標への正確性、ゴムボート操法では5人で50m先のブイを折り返すコースでタイムを競いました。

真夏日の厳しい暑さのなか、競技に参加する競技者には、自チームを鼓舞する声援が送られていました。

子育て地蔵のお祭り

～延命地蔵尊祭典～

7月23日と24日、古くから『子育て地蔵』として親しまれてきた延命地蔵尊の祭典が行われました。遊仙寺（伊勢居地）や光岸寺（上新町）などで、ロウソクや提灯が灯る境内を親子連れが訪れ、お地蔵さまに手を合わせる姿が見られました。

伊勢居地では23日が宵宮。境内には出店が立ち並び、恒例の演芸会では、伊勢居地番楽や子どもたちのダンスのほか寸劇などが披露され、笑い声と拍手が絶えませんでした。翌日は大般若教が奉読され、五穀豊穣、身体堅固、東日本大震災の復興などが祈願されました。



第5回にかほ市職場・チーム対抗ゴルフ大会

▼個人の部	【優勝】鈴木智之さん
【準優勝】阿部五郎さん	板垣理容室
【第3位】土門文人さん（岡の谷地2区）	（岡の谷地2区）
▼職場・チームの部	【優勝】互光
【準優勝】ちょっとタイム	（岡の谷地2区）

第8回市民ゴルフ大会

▼女子	【優勝】菊地清悦さん（室沢）
【第3位】宮崎信一さん（鈴木）	（本荘高・十二林2区）
【第3位】加藤末五郎さん（大砂川）	（大砂川）

第61回東北高等学校柔道大会

▼女子63kg級	【第3位】越川あゆみさん（本荘高・十二林2区）
▼男子90kg級	【準優勝】板垣将大さん（秋田大学・浜金浦2区）

平成23年度県民体育大会柔道体重別選手権大会東北地区予選会

▼男子81kg級	【優勝】板垣将大さん（秋田大学・浜金浦2区）
----------	------------------------

復興応援メッセージを届ける

～夢と希望チャリティーライブ～

7月9日、NPO法人エヌポック主催の東日本大震災復興応援・夢と希望チャリティーライブ「もこさん×宗さん×柴田三兄弟=夢と希望」が仁賀保勤労青年ホームで行われました。

市内外から約220人の聴衆が訪れ、力強い三味線と優しい歌声、包みこむような朗読などを堪能。終わりに、5月から3回に渡って行われたチャリティーライブでの義援金、約40万円の目録が「宮城びっきの会びっき子ども基金」代表で、この日出演したさとう宗幸さんに手渡されました。



“あつい”夏、体力の限界に挑戦

～第24回トライアスロン芭蕉レース象潟大会～

7月17日、象潟海水浴場を発着点に第24回トライアスロン芭蕉レース象潟大会が行われ、全国各地から271名が参加しました。

一般・エリート・リレーの部に参加した選手たちは、象潟海水浴場でのスイム1.5キロ、市内を巡るバイク40キロ、象潟地域を駆けるラン10キロで競い、エリートの部優勝者松丸真幸（茨城県）さんは2時間8分47秒でゴール。距離の短いちょっとした部とジュニアの部なども行われ、炎天下、体力の限界に挑戦する選手たちに、沿道の市民から、拍手と声援が送られていました。



バイクを終え、最後のラン10キロに向かう選手